いずみ
発行所
福井県大野郡
和泉村公民館
印刷所　松浦印刷所

追加予算、分收造林契約など
第26回臨時村会開かれる

十月二十七、二十八日の両日、第二十六回臨時村議会が開かれ次のような問題が議決されました。

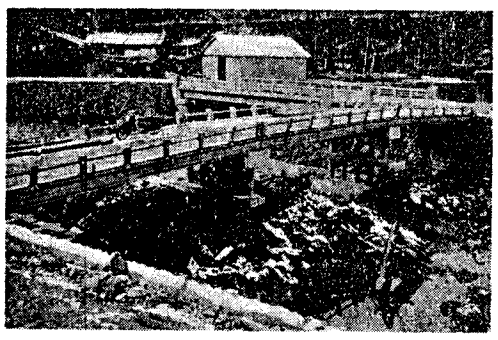
一、村長の専決処分事項の報告について
　県立公園の区域の変更について同意を要する件
二、昭和三十七年度和泉村歳入歳出追加更正予算について
三、和泉村債の借入及び償還方法について
　災害復旧事業債の件
四、和泉村特別職の職員の給与及び旅費等に関する条令の一部改正について
五、証人等の実費弁償に関する条令の一部改正について
六、和泉村一般職の職員の旅費に関する条令の一部改正について
四、五、六は国鉄バス賃改正に依る車馬賃の改訂であります。
七、和泉村税条令の一部改正について
八、分収造林契約について
　村有林三面谷山五十五町歩に対する森林開発公団との契約の件
九、林道の管理権放棄について
　久沢地係の民有林で農林省が買収する地内に係る路線
一〇、和泉村選挙管理委員会の委員ならびに補充員の選挙について
一一、インフルエンザ予防対策について
　議員提案々件村民全般にワクチン接種を実施することについて

和泉村選挙管理委員会委員改選

昭和三十七年十月二十六日、和泉村議会第二十六回臨時会に於て次のとおり新委員が選出された。又十一月五日、初委員会が開催され新委員長が決定した。

委員長　桜川栄太郎　六二才
〃　委員　田中才次郎　六八才
〃　三坂常三郎　六二才
〃　岩上信次郎　七二才
よい郷土公明選挙が土台石

村道トメ橋（下半原）完成



昭和三十四年来三回の台風に連続流失（三十四年伊勢湾台風。三十五年台風十八号。三十六年室戸台風）した村道トメ橋が中森建設及び日本PSによりようやく完成した。

伊勢湾台風以来危険な仮橋を渡ることが多かつた部落民にとつて幅四米、長サ三〇米のPS橋は今度こそは大丈夫と喜こばれている（写真、手前が完成したトメ橋）

公民館強調目標

あわただしい年の暮となりました。各自が防犯に協力しましょう
一、戸締は厳重に致しましょう
一、夜の一人歩きはさけましょう
一、家を留守にする事は絶対に止めましょう

消防団連合演習と優良団員の表彰

高志地区消防団秋期連合演習は十月二十四日足羽町において、東郷小学校より出火想定のもとに地区町村消防団が多数参加して日頃の技術を遺感なく発揮、和泉村からも徒歩部隊要員として拾数名参加した。尚演習修了後優良団員として別記の通り表彰をうけた。

高志所長賞石神繁夫（下半原）
協会長賞　表　俊一（朝日）
　　白崎　修（中竜）
　　辻　善久（大納）
功労章　石神一良（下半原）
　　水谷　亶（朝日）
　　谷　三好（下山）
　　三嶋健太郎（後野）
永年勤続章三島秀夫（箱ケ瀬）
　　尾崎良雄（持穴）
　　小沢辰男（持穴）

農業講座

稲の原種決定試験成績について

朝日地籍で毎年稲の品種性試験を行っています。稲の品種を選ぶには、米質がよく、収量が多くて病虫害に強いと言う事が大切です又一定面積当りの藁重が軽くて、籾重更に玄米重の多いものがよいわけです。肥料を沢山施さないと穫れない品種と、肥料を沢山施すとかえって減収する品種があり、前の方を多肥栽培向き品種といって、チョウカイなどはこの品種に入り、後の方を少肥栽培向き品種といって、フジミノリなどはこの品種になります。

今年の成績ではフジミノリが一位、東北七九号が二位、冨系六〇号が三位でした。昨年の成績は一位冨系五一号、二位フジミノリ、三位早生若葉となっています。フジミノリは一昨年も成績が上位であったので、明年は安心して作つていただける良い品種です。

東北七九号は昨年は試験品種になかつたので、後一年か二年の成績を待たないとはつきりした結果がでないわけです。今年は冨系五一号よりも冨系六〇号の成績が上位で、冨系六〇号は昨年の試験に取り入れてなかつたので、これも後一年か二年の成績を待たないと結果がでないわけです。

原種検定試験で大体三カ年連続して良い成績であつたものが、福井県の山間部の奨励品種になり、平坦地の奨励品種ホウネンワセは良い成績が出ていません。

総て作物は品種によつて優劣の差が大きいので、地域に適したものが地方の優良品種であつて、ひとり増収されるものですから、品質の劣る品種は栽培を除外して優良な品種二～三種類にしぼつて栽培されるようお奨めします。

昭和37年度水稲原種決定試験成績

試験区	品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂数	倒伏	稲熱	1a当収量 kg 藁重	1a当収量 kg 精籾重	籾1ℓ重量 g
普多	ホウネンワセ	8.7	9.8	88.5	20	弱	少	54.0	64.8	542
	〃	8.7	9.10	88.0	23	弱	少	51.0	65.0	531
普多	東北79号	8.8	9.12	89.0	23	中	多	47.4	68.7	544
	〃	8.8	9.12	89.5	24	弱	多	48.0	72.0	536
普多	東北78号	8.5	9.1	94.0	18	少	無	40.5	61.8	476
	〃	8.6	9.1	95.0	18	稍弱	無	47.4	56.4	462
普多	マンリョウ	8.13	9.22	81.0	17	少	少	58.2	65.1	539
	〃	8.13	9.22		18	中	中	58.4	66.9	539
普多	チョウカイ	8.9	9.12	82.5	13	中	無	39.0	64.5	462
	〃	8.5	9.13	83.0	14	弱	〃	39.0	63.9	506
普多	東北76号	8.8	9.10	79.5	18	強	無	39.0	65.4	509
	〃	8.8	9.13	80.0	18	強	〃	42.6	67.8	506
普多	フジミノリ	7.30	9.10	87.5	13	少	無	40.5	72.3	520
	〃	7.31	9.10	88.0	14	少	〃	40.5	69.9	525
普多	冨系51号	7.31	9.10	80.5	13	極少	無	34.5	67.5	520
	〃	7.31	9.12	81.0	14	少	〃	33.0	64.5	512
普多	冨系60号	7.30	9.6	84.0	17	少	強	38.4	81.1	531
	〃	7.30	9.6	85.5	16	少	強	38.5	69.3	514
普多	早生若葉	8.13	9.20	93.0	17	強	無	56.4	65.7	536
	〃	8.13	9.20	94.5	18	強	〃	57.0	64.5	556

普＝普通肥　多＝普通肥より15％増肥　（農業改良普及所）

村民の声

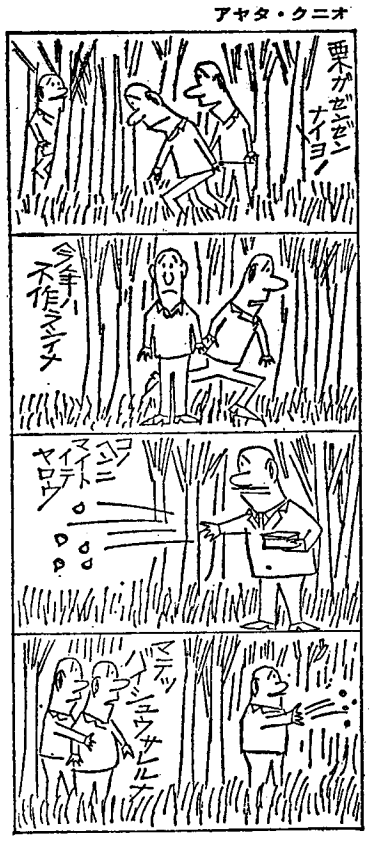
今年くらいニセモノ騒動の多い年はない。ニセモノ第一号は宮中歌会初めの入選作「夜を学ぶ生徒等は皆鉄の匂い土の匂いを持ち集い来」が盗作らしいと言うので騒いだ事件。またその頃、栃木県下から佐野乾山の名器が二百点もどつと出てホンモノかニセモノか世間の話題をあつめたのがニセモノ騒動の第二号だ。第三号は昨年春以来問題となつて居た東洋電気のカラーテレビが去る一月二十日、警察の手入れでニセモノと言う事になり、白黒がはつきりしたカラーテレビ事件、三月になると日東化学肥料と言う幽霊会社が一流会社の日東化学工業と社名が似通つているところから、日東化学と言う名で幽霊株百万株をばらまき、詐欺で訴えられた。また帝国人絹と紛わしい偽造株券が市中に流通し、証券界で問題となつた。

ニセモノと言えば昨年来から今年にかけて東北関東に出廻つたニセ千円札も、十一月十五日現在で合計二百四十枚にも達しています。戦後では昭和三十三年、三十四年と続いてニセ札が北海道東北に出まわり、いまだに迷宮入りとなつて居る。これまでのニセ札はガリ版刷りに色を付けたペンで書いたもの、写真でとつたものなどまちまちであつたが、今度のニセ札は高度の印刷技術によつたもので、市中銀行の窓口をパスして日銀本店で発見されたものもある。このところ警察当局をあわてさせて居る。当局の話によると、戦後最大のニセ札騒動にもなりそうである。ニセ千円札はホンモノ顔負けするほど精巧なもので、しかも高度の印刷技術で大量に印刷されたフシもあるとのことだ。WR、UA、GAといつた記号の付いた千円札はいま一度見直してみる必要があるかも知れない。ホンモノ千円札の原価は七円程度だと言う。お札のなかで一番なじみ深いのは千円札だと言うのは、昭和二十五年一月に発行せられて、今年で丁度十二年目になる古顔のお札であるからだろう。千円札が初めて世に出た昭和二十五年当時日銀が千円札の流通度を調べたところ、東京から流れ出た千円札はわずか半月もたゝない内に北は北海道から南は九州まで流れていることがわかつた。つまり私等のポケットに有る千円札は一カ月間に平均二三回の割で北海道から九州までの長いコースを回転していることになります。お札の寿命は一番短いもので百円札で一年位い、千円札は二、三年、五千円札一万円札になると四、五年程度である。お札の寿命がこんなにちがうのは、用紙のよしあしにもよるとは言え、やはり扱いかたの影響が大きい。百円札のようにクシャクシャにされたりひとつかみにしてポケットに突つこまれるのではとても長生はできようもない。日銀ではお札の偽造防止のためスカシを入れているが千円札には日銀の文字と桜花の白および黒のスカシがはいつて居るこの黒のスカシの部分は紙幣の表面よりも厚く盛り上つて居る。現在民間ではスカシの使用は禁じられて居る。千円札の印刷工程やインクの配合は秘中の秘とされて居るが、表面の文字肖像配合及び番号は黒インク、地模様は薄紅、藤色及び青緑色、印章は赤インク、裏面では輪郭文字及び風景が焦げ茶インク、地模様は淡青色、裏の発券局長印は青インクを使用して居る。お札の印刷は案外簡単らしいが、それでも偽造防止のため千円札は八色刷り、五千円札は十四色刷り、壱万円札は十五色刷だそうです。

現在ホンモノかニセモノか区別がつかないので、ニセ札を見分けるのは印刷よりも紙質で、受取るとき折りたゝんだまゝでなく、ひろげて確めるのが第一です。私達は、幸いにニセモノ騒動には関係がないのだからと安心することの出来ない事態がふりかゝつて来たからです。いままではホンモノかどうかもわからなかつた開発問題も、どうやらホンモノになりかけた様な感じがして来たのだからたいへんなんだ。おれほどとすい人間はないと各自が思つて居られる様だが、ニセモノに引つかゝるのはこれからの様に思えてならないからです。あの手この手にと変つたニセモノ、ホンモノが私達を取りまくことでしようが、おいしそうなごちそうをたべて食中毒にかゝらないよう、又ホンモノだと思つてニセモノをつかまない様によく注意しようではありませんか。

候補者はねらつている

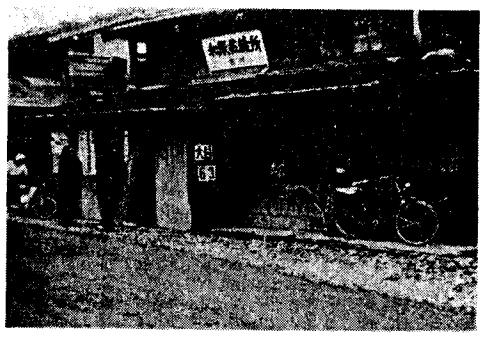
アヤタ・クニオ



各種団体だより

十月二十四日　消防団秋季連合演習（高志地区）
郡市公民館長会議
十月二十四、二十五日　下穴馬農業協同組合理事会
十月二十五日　朝日小学校授業研究会
十月二十六日　民生委員推せん会議
十月二十七日　朝日小中学校PTAによる小松博見学
十月二十九日　和泉村校長会（大納校）
上地区九頭竜川ダム対策協議会
十月三十日　下地区〃
日進小学校遠足（面谷へ）
大納校遠足
十月三十一日　高志地区町村議長会（役場にて）
十一月一日　自由民主党北陸開発特別委員会長小枝一雄氏九頭竜川開発地点視察のため来村
十一月三日　村民運動会（朝日、持穴二カ所で）
大納校音楽会、展覧会
十一月四日　大納校PTA研修旅行（平泉寺、小舟渡方面）
十一月五日　選挙管理委員会
十一月六日　大和小学校六年算数研修会
大和小学校六年算数研修会
九頭竜川ダム対策協議会の改組を検討する村会特別委員会開催
電発立入り申請に対する地元としての態度を協議するためダム対策協議会役員会
十一月八日　日進小学校PTA会議及び役員会議
県連合青年団と語る会（於大和校）
十一月九日　僻地複式研究中間発表（朝日小）
十一月十一日　青年団芸能発表会（大谷）
和泉村商工会役員会（大谷）
十一月十二日　有終中にてPTA総けつ起大会、当村小中PTA教委等参加
十一月十三日　大納校植樹（登賢治氏寄贈の杉）
東部中学校英語研究会、県指導主事岩崎先生指導
下穴馬森林組合視察会（県林業指導所）
十一月十四日　上地区婦人会、高志高等学校長を迎えて講習会開催
十一月十五日　東部中学校教頭会
十一月十七日　大納中学校植樹（ポプラ、森林組合寄贈）
十一月十八日　青年団県外研修旅行
大野地区農協婦人部大会、於勝山（組合マーク普及運動で上穴馬農協婦人部は大会で県より表彰された）
十一月十九日　環境衛生組合役員会（大谷）
十一月二十二日　僻地複式研究、反省研修会
十一月二十三日　囲碁大会（於役場）
青年団反省会（於役場）

電源開発の立入り許可について



十一月一日発行の本紙でおつたえしました変更案は、いまだに電源開発調整審議会にかけられずに経過致して居りますが、一方変更案にもとずく土地調査立入りについては、去る九日電発総裁より県知事宛に許可申請がなされ、仝日県知事より村長宛に公告の掲示方と関係者への通知についての依頼が行われました。公告の内容は次のとおりであります。

電源開発ＫＫから電源開発促進法第二十八条の規定により次のとおり土地立入の申請があつたので公告する。

昭和三七年一一月九日

福井県知事　北　栄造

一、土地立入の許可を受けようとする者の氏名または名称
電源開発ＫＫ総裁　藤井崇治
二、土地立入の目的
九頭竜川水系電源開発計画に関する調査測量
三、電気工作物の種類
水力発電所
四、立ち入ろうとする土地の区域
福井県大野郡和泉村大字
村内全部落名につき省略
五、立ち入ろうとする土地の所有者および占有者の氏名または名称
広範囲のため所有者等の調査困難のため省略
六、立ち入ろうとする期間
許可の日から一ヵ年
七、意見書の提出期限
本件に意見のある利害関係人は昭和三七年一一月二二日までに和泉村を経由して知事宛意見書を提出すること。

以上でありますが、ダム対策協議会は上下両地区に於て夫々説明会を開いて伝達し、意見書の提出期限については十一月三十日とするよう県知事宛申請中でありますが、現在百余名の調査隊が来村して調査中であります。

（写真は家屋調査）

ご存知ですか　自衛官の募集

只今自衛隊を行つて居ります。自衛隊と云えば旧軍隊を思い起し易いのは自衛隊の内容を御存知ないためだと思います。ところが一般の想像や心配とは全く反対で、世界でも例の少ない全員が志願者であり、自由と規律を守り合い、特別職の国家公務員として衣食は支給の上、初任給七・六〇〇円（衣食を換算すれば一五・〇〇〇円内外に相当）と年二回の賞与と定期昇給、十五年勤務に依り年金の資格が得られ、なお除隊者には連絡部において就職の斡旋が得られる等、恵まれた環境にあつて、自衛官は極めて明朗快活、選ばれた者の誇りをもつて国家防衛の聖職についております。

又自衛隊と云えばすぐ銃をもつた姿を想像されるでしようが、銃をもつて野外を跳び歩くものだけが自衛隊ではなく、近代科学の進歩と共に私達の生活が文化的になつたと同様、自衛隊もすべて高度に機械化されております。相手が機械であるから技術は自然に身につくわけです。通信、測量、操縦整備、調理士等の免許その他各種の資格が得られ、将来の安定（云は身を助ける）と希望が確約されるわけです。

尚長男も大歓迎しております。今や新しい村づくりの中堅人物となる長男こそ、両親の健全なうちに二、三年団体生活を体験し、異郷での人生体験、社会見聞を広める事も有意義ではないでしようか（詳しい事は役場係で御尋ね下さい）

遠足

大納小中校

遠足という言葉は最近返上した方がよい位、近頃の遠足はバス旅行が普通となつたのは、時勢とは言え、何だか異様な気分がする。当校では春はバス利用、秋は徒歩となつているが、なか〳〵行先を決定するのが頭痛のたねである。バスだつて大型七台も利用するとなると簡単なことではない。一台でも事故が起きはしないかとヒヤ〳〵もの。又秋の徒歩遠足も決つたコース。生徒児童には魅力がないようだ。しかしそう言い乍らもオニギリやオヤツをかついで秋晴れの山道を紅葉がりする風情はたのしいものである。出かけて見れば結局オニギリを皆と一しよに食べることの嬉しさであろう。「みんなと共に」が遠足の最大の魅力であることは子供だけであろうか。（写真はオニギリを食べるよい子ら）

村民体育会（下地区）

ゼスチュアで散会

十一月三日折悪しく小雨模様で雨雲の低く垂れこめた中で準備は着々進められ、午前九時開会、号砲一発、中学生のリレーを皮切りに競技は開始された、一度切つて下された競いの的は空模様も何のその、次々と止む所なく展開され紅白真二つに別れて得点を競う村民の集いは、正午近くの猛雨の中に止る所を知らず、中止の宣言も耳にとまらず意気益々盛んとなる。関係者はこの意気に応えるべく午後の部を室内競技に切り替えた。

急拠プログラムの編成替を行い中学生の剣道試合を手始めに、綱引、棒押、紅白玉入れと童心に帰つての番組に早替りし遂に紅白ゼスチュア大会にまで発展し、参集の村民は菊香る十一月三日の一日を夕方四時まで心ゆくまで楽しみ、優勝旗は遂に白組の手に渡つた。閉会後参加者全員に抽せん券が渡され、引き当てた得ものをかゝえて名残を惜しみつゝ家路についた。

（写真はその一景）

電源開発株式会社（電発）

季節風

昭和二十七年の第十三回国会で成立した電源開発促進法に基ずいて設立された会社で、大蔵大臣および九電力会社を株主に持ち、役員は総べて内閣が任命すると言う特殊な性格を持つ会社であります。設立以来十年間に二百万キロワットの水力電源を開発し、電力会社中では首位を占す株式会社であるが、代表者は普通の会社の様に取締役社長と言わず総裁と呼ばれ、副社長および取締役は副総裁ならびに理事と呼ばれて居る。現在払込み資本金は六百一億円で、その中、民間出資の九電力会社は合計一億円にとゞまり、六百億円は政府出資である。「政府が定めた地点における電源開発をすみやかに行ない電力の供給を増加する」ことを目的として居ります。その様な関係で、此の会社の資金調達や財務運営にはいくつかの特典と制約があつて、今年の第十回営業年度までは政府の出資ぶんについては、配当金は免除されて居り、社債発行限度は資本金および準備金の総額または貸借対照表の純財産額の何れか少い方の十倍までと言う高率が認められ、尚社債および外債債務は国会の議決を経た上で政府の保証契約を受ける事が出来るし、資金運用部の資金を利用することも出来る。反対に制約の面と言えば前記の様に役員が内閣の任命なので、通産大臣が業務に関しては命令を下だせる事になつて居ますこうした特殊の性格を持たされて居るのは電発が電力会社に対して補充の役割が与えられ、個々の電力会社では手におえぬような電源開発を受け持つのがねらいだそうです。

だいたい電力需要は十年間で倍増と言うのが常識だが、此の十年間に我が国の電力需要はその常識を越えて三倍となつた。二六年度の年間四百億キロワット時の需要が三六年では一千二百億キロワット時近いものとなつて居ます。これに対して、供給のほうも一千百万キロワットから二千六百万キロワットと約二・四倍、此の中電源開発会社の開発した水力発電量は九電力会社全部の開発した分にほゞ匹敵する状態です。しかし低い金利負担で資金効果率を上げて安い電力を供給し、電力資源の輸入依存をくい止めると言う電源開発会社も、今年度から出資金の配当はどうなるのかの重荷がかかつてくるものと見られます。

土木技術者研修会開催される

十一月二十一、二十二日の両日本村および大野土木出張所和泉工務所並びに大野建設業会和泉地区分会共催にて、本村役場会議室と工事現場に於て、土木技術者研修会が催されました。これには村内にて工事施工中の各業者と業者の世話役など四十名が出席し、災害復旧などの公共事業の施工にさいして一段と良い仕事をして、その目的を達成するという主旨から県より道路課神門技師、河川課鈴木技師、西島大野土木出張所長、山田和泉工務所長を講師に迎えて二十一日は河川、道路、橋梁の各工事の施工方法、現場一般および法規、並びに事務手続について詳細に受講、二十二日は直接工事現場に行き、いろいろと有益な講習を受けた。これから施工される工事については今日の講習を生かして、より立派な仕事をして貰いたいものである。

へき地複式教育の研究

朝日小学校と後野分校で

へき地教育と言えば、教育関係者、或は教育関係になくても辺地在住者はその研究進展に大きい関心をもつている。が、その振興の必要を身を以つて痛い程味わされているのは、へき地の教育に現に身を捧げている先生たちである。この現場の教師が朝日小学校を中心として村内一団となつて「山村のへき地条件が生む教育課題」は何か、それを究明し、追及して一歩の前進を期待し、努力を続け乍ら、来る日〳〵を務めて来たこの一年間の積み重ねの報告会が十一月九日朝日小学校を第一会場、後野分校を第二会場として行われた

今回の研究会は内容的に大きな特色を持つもので、従来へき地教育と言えば複式や複々式の授業の仕方のみを中心に進んで来たものであるが、今度はこの方面は勿論この授業を効果的に行い得る学校運営はどうあるべきか、換言すれば運営面から見たへき地教育の障害はどこに在るか、之を除去する教育行財政的措置はどうか、を究明する面をも深く取り入れられていたことであろう。村内小学校の先生は勿論、中学校も参観でなく参加して自分達一人々々の問題として取り組み、県教委、大野市教委からも指導に列席され、広い視野に立つ批評・助言もあり、午前九時から午後四時までミッチリ授業研究、経営研究に多角的な検討が加えられて一日を閉じた。

この研究は、これで終るものでなく、更に今後も経続的に進められ、次年度は一応その成果をまとめることになつている。因に朝日小学校は今春四月へき地複式教育推進校に指定されている。

（写真は報告会の討議風景）

青年団芸能発表会

紅葉がちり、取り入れが終り秋の夜長を利用して青年団の芸能発表会が十一月十一日夜大和校講堂でにぎやかに行われた。昼に計画されていたが丁度停電日となつて夜の部で開会、以前は審査員によつて一等二等と賞を出していましたが、今回はどの分団もそして誰れもが気軽に参加出来るお互に楽しい会にしようと、発表会の型で審査員なしで行いました。夜と言う事で距離的に恵まれない一二の不参加分団もあつたが、参加者みんなが忙しい仕事の余暇を生かして自分等で脚本を製作し、皆んなで踊りの振りつけをする等の努力を十分に発揮して各自が熱演、観衆も中々の熱心さ。講堂も一パイで拍手と爆笑のにぎやかな二時間あまりでありました。

人のうごき

【出　生】

東市布　川端　隆之
東市布　酒井日出子　隆平長男
上半原　長谷川一枝　幸良長女
持　穴　西倉美姫子　弘　長女
大　谷　永瀬　龍洋　貞夫弐女
大　谷　若山　浩和　龍太郎長男
大　谷　若山恵里子　薫　長男
野　尻　若山　則義　市造五女
角野前坂平瀬　智美　元司弐男
下　山　中村美根子　富政長女
憲治弐女

【婚　姻】

○東市布　宮下　卯一
岐阜市金園町　井上美代子
○下半原　石神　満雄
名古屋市中川区　神田　照子
○福井県吉田郡松岡町済川　常信
下半原　中森　和子
○岐阜県稲葉郡鵜沼町五島　幸雄
箱ヶ瀬　三島　算代
○横浜市中区曙町　石垣　留義
大谷　若山登美枝
○大谷　河合　敏明
岐阜県大野郡荘川村糸田　倍枝
○愛媛県北宇和郡吉田町　西本万寿男

かじか

北陸特有の低くたれさがつた灰白色の雲は初冬の悲哀を思わせている。昭和三十七年はもう後幾日もなく暮れていこうとしている。▲今年は実に平和な有難い年であつたことを神仏に感謝したい。三年続いた水害もなく、田の稔りも豊年とまではいかなくても平年作以上であろう。加えて過去三年間荒れに荒らされた復旧工事も好天気にめぐまれて順調に進み、八分通りの完成と言つてよいでしよう。▲唯一の交通機関である国鉄バスも定時運行を確保し、ときには早発車すると小言が出る程道路事情もよくなつた。ほんとうにうれしいことである、連年身も心もいためつけられた我等村民は明るい気持で年の瀬を越せることでしよう。▲秋の取り入れ終り、年中行事である報恩講、祖先の法要等の仏事の営まれるシーズンになつた。春以来毎日の仕事に追われて、仏事にも、近所となりにも疎遠がちであつたが、親類、縁者相集つて各家々で或は道場で、かんかんと燃える炉辺で、よもやまの話をすることは穴馬ならでは味わうことの出来ない風景であり楽しみであろう。▲あえて仏事のみに強く結びつけることでなく、多忙であつた一年間の総決算とも言いたい。恐らく今日流行の「科学的」には縁遠いであろうが、人生劇場の人間味を持つオアシスであつてほしいものである。▲とか言つても宗教的であることを否定するものでない宗教が人間形成に大切であることを見逃すことは出来ない。すべてを型にはめ、形式にとらわれ勝ちな因襲を脱して、現今の社会風潮にマッチした営みで、今日を喜び明日を楽しみたい。▲宗教は科学的でないとぐちる若い世代にとつても、新興宗教とかいうものが隆盛するところをみると、何か心の依り所を求めているのであろう。恋愛は魅力があり事実大きな問題であるが、科学的恋愛というものがあるのだろうか。それがないと同じように、このシーズンに、心静かに、また豊かに宗教のよさを翫味したいものである。

朝日　水谷登美子
○上大納　野中　義雄
福井県大野郡西谷村柳原シゲノ